

「仕事と介護の両立支援に関するアンケート調査」

アンケートご協力をお願い

厚生労働省雇用環境・均等局

厚生労働省では三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社に委託し、「令和6年度仕事と介護の両立等に関する実態把握のための調査研究事業」を実施しています。

【本事業の背景・目的】は以下のとおりです。こうした状況を踏まえ、本事業では民間信用調査会社のデータベースに掲載されている企業様を対象として、アンケート調査を実施し、仕事と介護の両立に関する現状及び課題について把握することとしております。アンケート結果は、企業における仕事と介護の両立支援に関する実態を把握し、仕事と介護を両立しやすい環境づくりを推進するための基礎資料とさせていただきます。

郵送により調査協力依頼を受領された企業におかれましては、アンケートの趣旨をご理解頂き、回答にご協力賜りたくお願い申し上げます。

※対象企業の皆様には、令和6年11月上旬～中旬に、郵送により調査協力依頼をお送りしております。ご回答は、ご案内しております専用のアンケートサイトよりお願いいたします。

なお、調査協力依頼をお受け取りになっていない企業の皆様は、本調査の対象ではございませんので、本ご案内についてはご放念くださいますようお願い申し上げます。

【本事業の背景・目的】

高齢化の急速な進展や人口減少社会が到来する中、男女ともに労働者が仕事と介護を両立し、安心して働き続けられる環境の整備は、ますます重要な政策課題となっており、「ニッポン一億総活躍プラン」「働き方改革実行計画」においても、「介護離職ゼロ」の実現が掲げられています。

令和4年の総務省就業構造基本調査においては、介護をしながら働く方は365万人と、5年前の同調査結果と比べ18万人増加しています。一方で、介護離職者数は10.6万人であり、5年前と比べ0.7万人増加していることから、目標達成に向かって仕事と介護が両立できる職場環境の整備をさらに進めていくことが求められています。

こうした背景を受け、本事業では仕事と介護の両立に関する現状及び課題について把握し、今後の施策検討の基礎資料として活用することとしています。